

天狗山と山手エリアのグローバル観光推進への取組

プロジェクト代表者: 井上 典子

1. プロジェクトの目的・概要

本プロジェクトの取組は、小樽の重要な観光拠点である天狗山と周辺エリアの英語版観光マップを作成し、天狗山ロープウェイ施設内のサインおよび選定した展示内容の英語化を行うことです。プロジェクトの目的は主に二つあります。まず、学生がゼミの範囲を越えた調査活動などによる能動的な学修と関連する自治体や事業者との連携を通して、現在小樽市が力を入れている観光振興・産業振興への知識・理解を深めながら英語運用能力を向上させる機会を与えること。そして、恵まれた自然環境と眺望を有する天狗山と山手エリアの観光振興に寄与することです。また、自分たちが協力して作り上げたマップや説明サイン・パネルが外国人観光客に実際に役立つことを実感することにより、学生たちは大きな達成感と誇りを感じるはずであり、その達成感や自信がさらに今後の学習意欲の向上・就職活動にも役立つものと期待しています。

2. 具体的な取組内容

本プロジェクトでは、大きく二つの取組を行いました。

1) 天狗山ロープウェイと周辺エリアに特化した観光マップの作成。夜景やスキー場など、「一年を通して違った楽しみ方ができる天狗山」というコンセプトに基づき、「天狗」を全面に押し出したレイアウトをデザインしました。天狗山周辺施設の取材も行い、可能な限り周辺エリアの情報も盛り込む努力をしました。

2) 天狗山ロープウェイ施設内のサインや展示エリアに関して外国人の視点を取り入れた改善点や英語表記の具体案の提示を行いました。その一部は実際にサイン・パネル化し、「天狗の館」および「スキー資料館」に、誘導・説明サインや説明パネルとして設置します。

3. プロジェクトの成果及び地域への還元

中央バス観光開発株式会社より頂いた課題の中で、今回のプロジェクトでは以下の2点に取り組みました。1) 天狗山そのものへの来場者数は、小樽市全体の観光客数に占める割合としては非常に低く、観光客誘致にまだ課題がある、2) 施設の展示物は未だ日本語表記が中心であり、海外からの来場者に十分に対応できていない。これらの課題への取組として、天狗山とその周辺エリアに特化した英語観光マップを作成し、天狗山・山手エリアの魅力外国人観光客にアピールすることによって、来場者数の増加に寄与できるのではないかと期待しています。また、施設内のサインや展示内容の英語化を行うことにより、来場した外国人観光客に対するサービスの向上を図るだけでなく、小樽は外国人観光客に優しい街づくりを行っているというメッセージを発信することにもなり、小樽市への外国人観光客誘致促進につながると思っています。

さらに英語版を基に多言語化することで、更なる発展性も期待されます。また、観光の現場で実際に役立つマップや展示パネルの作成に携わることは、学習効果だけでなく、職業訓練の意味でも大いに成果が期待されることでしょう。また、本プロジェクトの経験を来年度以降のゼミ活動や英語関連授業の内容にも反映させ、商大生の英語運用力のさらなる向上に役立てたいと考えています。

